

TERMS AND CONDITIONS FOR ACCOMMODATION CONTRACTS

(適用範囲)

第1条

- 1 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約およびこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとします。
- 2 当ホテルが法令および慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

(宿泊契約の申込み締結)

第2条

- 1 当ホテルに宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。
 - (1) 宿泊者名
 - (2) 宿泊日および到着予定時刻
 - (3) 宿泊料金
 - (4) その他当ホテルが必要と認める事項
- 1-2 宿泊の申込みをした者は、当ホテルが宿泊者の氏名、住所、電話番号等を記載した宿泊者名簿の提出を依頼したときは、宿泊契約成立後であっても、直ちに提出するものとします。
- 2 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

(宿泊契約の成立等)

第3条

- 1 宿泊契約は、当ホテルが前条の申込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。
- 1-2 当ホテルが、インターネットサイトに誤った宿泊料金を提示し、又は電話で誤った宿泊料金をご案内し、当該宿泊料金に基づき、宿泊契約の申込みをされ、当ホテルが承諾した場合は、当該料金とその前後の期日の宿泊料金に比べて著しく低廉であるときは、当該料金につき「限定」、「特別」、「キャンペーン」等の低廉である理由の表示又はご案内のない限りは、民法上の錯誤による承諾であることから、宿泊契約は無効とさせていただきます、速やかにその旨の通知を差し上げます。
- 1-3 当ホテルは、宿泊予定日前の任意の日に、宿泊客からいただいた連絡先に予約の確認の電話を差し上げることがあります。
- 2 第1前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。
- 3 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条および第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。
- 4 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。申込金の支払期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

(申込金の支払いを要しないこととする特約)

第4条

- 1 前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
- 2 宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合および当該申込金の支払期日を指定しなかった場

(Scope of Application)

Article 1-1.

Contracts for Accommodation and related agreements to be entered into between this Hotel and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions. Any particulars not provided for herein shall be governed by laws and regulations and/or generally accepted practices.

Article 1-2.

Should the Hotel enter into a special contract with the Guest, insofar as such special contract does not violate laws and regulations and generally accepted practices, the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions.

(Application for Accommodation Contracts)

Article 2-1.

A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following particulars:

- (1) Name of the Guest(s);
- (2) Date of accommodation and estimated time of arrival;
- (3) Accommodation Charges
- (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.

Article 2-2.

Should a Guest request, during his stay, an extension of the accommodation beyond the date in subparagraph (2) of the preceding paragraph, It Shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

(Conclusion of Accommodation Contracts etc.)

Article 3-1.

A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same shall not apply where it has been proved that the Hotel has not accepted the application.

Article 3-2.

When a Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit, fixed by the Hotel, within the limits of Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay by the date specified by the Hotel.

Article 3-3.

The deposit shall be first used for the Total Accommodation Charges to be paid by the Guest, then secondly for the cancellation charges under Article 6 and thirdly for the reparations under Article 18 as applicable, and the remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment of the Accommodation Charges as stated in Article 12.

Article 3-4.

When the Guest has failed to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2, the Hotel shall treat the Accommodation Contract as invalid. However, the same shall apply only in the case where the Guest is thus informed by the Hotel when the period of payment of the deposit is Specified.

(Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit)

Article 4-1.

Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may enter into a special contract requiring no accommodation deposit after the Contract has been concluded as stipulated in the same paragraph.

Article 4-2.

Should the Hotel has not requested the payment of a deposit as stipulated in Paragraph 2 of the preceding Article and/or has not specified the date of the payment of the deposit at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, it shall be treated as if the Hotel has accepted a special contract as prescribed in the preceding paragraph.



宿泊約款

TERMS AND CONDITIONS FOR ACCOMMODATION CONTRACTS

合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

(宿泊契約締結の拒否)

第5条

- 1 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。
 - (1) 宿泊の申込みが、この約款によらないとき。
 - (2) 満室（員）により客室の余裕がないとき。
 - (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
 - (3)-2 宿泊しようとする者が、当ホテル内で合理的な理由のない苦情、要求を申し立てた等、当ホテル内の平穏な秩序を乱すおそれがあると認められるとき。
 - (4) 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき。
 - イ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）、同条第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - ハ 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
 - (5) 宿泊しようとする者が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - (6) 宿泊しようとする者が、伝染病者であると明らかに認められるとき。
 - (7) 宿泊しようとする者が宿泊施設もしくは宿泊施設職員に対し暴力的要求行為を行い或いは合理的範囲を超えて負担を要求したとき。
 - (8) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
 - (9) 兵庫県旅館業法施行条例第4条の規定する場合に該当するとき。
 - (9)-2 宿泊の申込みをした者が、自己の商業目的を秘して申込みをしたとき。

(宿泊客の契約解除権)

第6条

- 1 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。
- 2 当ホテルは、宿泊客が宿泊契約の全部又は一部を解除した場合（第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。）は、別表第1に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるにあたって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。
- 3 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後8時（あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

(当ホテルの契約解除権)

- 第7条 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することができます。
- (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。
 - (1)-2 宿泊客が、当ホテル内で合理的な理由のない苦情、要求を申し立てる等、当ホテル内の平穏な秩序を乱していると認められるとき。

(Refusal of Accommodation Contracts)

Article 5-1.

The Hotel may not accept the conclusion of an Accommodation Contract in the following cases:

- (1) When the application for accommodation does not conform with the provisions of these Terms and Conditions.
- (2) When the Hotel is fully booked and no room is available.
- (3) When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct himself in a manner that will contravene the laws or act against the public order or good morals in regard to his accommodation.
- (3)-2 When the guest seeking accommodation is compiled without reasonable grounds.
- (4) When the Hotel is requested to assume an unreasonable burden in regard to his accommodation.
- (5) When the guest seeking accommodation can be clearly detected as carrying an infection.
- (6) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, disfunction of the facilities and/or other unavoidable causes.
- (7) When the provisions of Article 4 of the Hyogo Prefectural Ordinance concerning the enforcement of the "Ryokan Business Law" are applicable.

(Right to cancel Accommodation Contracts by the Guest)

Article 6-1.

The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by so notifying the Hotel.

Article 6-2.

Should the Guest cancel the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable (except in the case when the Hotel has requested the payment of the deposit during the specified period as prescribed in Paragraph 2 of Article 3 and Guest has canceled before payment), the Guest shall pay cancellation charges as listed in the Attached Table No. 1. However, should a special contract, as prescribed in Paragraph 1 of Article 4 be in effect, the same shall apply only when the Guest is informed of the obligation for payment of the cancellation charges in case of cancellation by the Guest.

Article 6-3.

In the case when the Guest does not appear the accommodation date after the expected time of arrival if the Hotel has been notified) without an advance notice, the Hotel may regard the Accommodation contract as being cancelled by the Guest.

(Right to Cancel Accommodation Contracts by the Hotel)

Article 7-1.

The Hotel may cancel the Accommodation contract under any of following cases.

- (1) When the Guest is deemed liable to conduct and/or have conducted himself in a manner that will contravene the laws or act against the public order and good morals in regard to his accommodation.
- (1)-2 If in connection with the use of a hotel room the Hotel is required to provide services beyond the generally accepted scope or to incur such other burden.



TERMS AND CONDITIONS FOR ACCOMMODATION CONTRACTS

- (2) 宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき。
- イ 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - ハ 法人でその役員のうち暴力団員に該当する者があるもの
- (3) 宿泊客が他の宿泊客及び他者に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- (4) 宿泊客が伝染病者であると明らかに認められるとき。
- (5) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
- (6) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
- (7) 兵庫県条例第4条の規定する場合に該当するとき。
- (8) 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項に従わないとき。
- (8-2) 宿泊契約成立後に第5条(9)-2に定めることが判明したとき。
- (8-3) 宿泊の申込みをした者が、第2条1-2に基づく当ホテルの依頼に対し、直ちに応じなかったとき。
- 2 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、その解除事由が前項(6)及び(7)によるときは、宿泊客がいまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。その他の解除事由によるときは、いまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金も、違約料としてお支払いいただきます。

(宿泊の登録)

第8条

- 1 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。
- (1) 宿泊客の氏名、年齢、性別、住所および職業
 - (2) 外国人にあっては、国籍、旅券番号、入国地および入国年月日
 - (3) 出発日および出発予定時刻
 - (4) その他当ホテルが必要と認める事項
- 2 宿泊客が第12条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。
- 3 宿泊客が発発するために客室をあけた時に客室の使用時間は終わります。
- 4 連続して宿泊する場合においてもこちらが定める日程において清掃管理のため客室に入室することがあります。

(客室の使用時間)

第9条

- 1 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後3時から翌朝10時までとします。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日および出発日を除き、終日使用することができます。
- 2 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けま
- (1) 超過2時間までは、室料金の20%
 - (2) 超過2時間以上は、室料金の100%

(利用規則の遵守)

第10条

宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

- (2) When the Guest can be clearly detected as carrying an infectious disease.
- (3) When the Hotel is requested to assume an unreasonable burden in regard to his accommodation.
- (4) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities and/or other causes of force majeure;
- (5) When the provisions of Article 4 of the Hyogo Prefectural Ordinance concerning the enforcement of the "Ryokan Business Law" are applicable
- (6) When the Guest does not observe prohibited actions such as smoking in bed, mischief to the fire-fighting facilities and other promotions of the Use Regulations stipulated by the Hotel (restricted to particulars deemed necessary in order to avoid the causing of fires.)

Article 7-2.

Should the Hotel cancel the Accommodation Contract in accordance with the preceding paragraph, the hotel shall be entitled to charge the guest for any future services except the preceding paragraph (4)(5).

(Registration)

Article 8-1.

The Guest shall register the following particulars at the front desk of the Hotel on the day of accommodation:

- (1) Name, age, sex, address and occupation.
- (2) Except Japanese, nationality, passport number, and date of entry Japan.
- (3) Date and estimated time of departure.
- (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.

Article 8-2.

Should the Guest intend to pay his Accommodation Charges prescribed in Article 12 by any means other than Japanese currency, such as traveler's cheques, coupons or credit card, these credentials shall be shown in advance at the time of the registration prescribed in the preceding Paragraph.

(Occupancy Hours of Guest Rooms)

Article 9-1.

The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Hotel from 4:00p.m. to 10:00a.m. the next morning. However, in the case when the Guest is accommodated continuously, the Guest may occupy it all day long, except for the days of arrival and departure.

Article 9-2.

The Hotel may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same Paragraph.

In this case, extra charges shall be paid as follows:

- (1) Up to 2 hours: 20% of the Room charge
- (2) Up to 2 hours: 100% of the Room charge

(Observance of Use Regulations)

Article 10.

The Guest shall observe the Rules and Regulations established by the Hotel, which are posted within the premises of the Hotel.



TERMS AND CONDITIONS FOR ACCOMMODATION CONTRACTS

(営業時間)

第11条

- 当ホテルの主な施設等の営業時間は次のとおりとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備え付けパンフレット、各所の掲示等に御案内いたします。
 - フロント、キャッシャー等サービス時間
 - 飲食等サービス時間：
朝食 6：30am～9：30am
夕食 6：00pm～8：00pm
- 全項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

(料金の支払い)

第12条

- 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当ホテルが請求した時、フロントにおいて行っていただきます。
- 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が故意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

(当ホテルの責任)

第13条

- 当ホテルは、宿泊契約およびこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。
- 当ホテルは、消防機関から適マークを受領しておりますが、万一の火災等に対処するため、旅館ホテル賠償責任保険に加入しております。

(契約した客室の提供ができないときの取扱い)

第14条

- 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。

(寄託物等の取扱い)

第15条

- 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当ホテルがその種類及び価額の申告を求めた場合であって、宿泊客が行わなかったときは、当ホテルは15万円を限度としてその損害を賠償します。
 - 当ホテルは15万円以上の現金又は時価5万円相当以上の物品はお預かりできません。
 - 宿泊客が、当ホテル内にお持込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の申告のなかったものについては、当ホテルに故意又は過失がある場合を除き、3万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。
 - 当ホテルは、第1項及び第2項に基づく損害賠償責任のあるときであっても、次に定める物品については、その責任を負いません。
 - 稿本、設計書、図案、帳簿その他これらに準ずるもの（磁気テープ、磁気ディスク、CD-ROM、光ディスク等情報機器（コンピュータ及びその端末装置等の周辺機器）で直接処理を行える記録媒体に記録されたものを含

(Business Hours)

Article 11-1.

The business hours of the main facilities, etc. of the hotel are as follows, and those of other facilities shall be notified in detail by brochures as provided notices displayed in each places, service directories in guest rooms and others.

- Front service 5:00A.M.～2:00A.M.
- Breakfast 6:30A.M.～9:30A.M.
Dinner 6:00P.M.～8:00P.M.

Article 11-2.

The business hours specified in the preceding paragraph are subject to temporary changes due to unavoidable causes. In such a case, the Guest shall be informed by appropriate means.

(Payment of Accommodation Charges)

Article 12-1.

Accommodation Charges, etc. as stated in the preceding paragraph shall be paid with Japanese currency or by any means others than Japanese currency such as coupons or credit cards recognized by the Hotel at the front desk at the time of the departure of the Guest or upon request by the Hotel.

Article 12-2.

Accommodation charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not utilize the accommodation facilities provided for him by the Hotel and are at his disposal.

(Liabilities of the Hotel)

Article 13-1.

The Hotel shall compensate the Guest for damage if the Hotel has caused such damage to the Guest in the fulfillment or the nonfulfillment of the Accommodation Contract and/or related agreements. However, the same shall not apply in case where such damage has been caused due to reasons or which the Hotel is not liable.

Article 13-2.

Even though the Hotel has received the "PASS MART" (Certificate of excellence of Fire Prevention Standard issued by the fire station), furthermore, the Hotel is covered by the Hotel Liability Insurance in Order to deal with unexpected fire and/or other disasters.

(Handling when unable to provide Contracted Rooms)

Article 14-1.

The Hotel shall, when unable to provide contracted rooms, arrange accommodation of the same standard elsewhere for the Guest insofar as practicable with the consent of the Guest.

(Handling of Deposited Articles)

Article 15-1.

The Hotel shall compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused to the goods, cash or valuables deposited at the front desk by the Guest, except in the case when this has occurred due to cause of force majeure. However, for cash and valuables, when the Hotel has requested the Guest to report its kind and value but the Guest has failed to do so, the Hotel shall compensate the Guest within the limits of 150,000 yen.

Article 15-1-2.

The Hotel can not deposit the goods, cash or valuables, which are more than 150,000yen. The Hotel shall not compensate the guest for the damage of information appliances such as magnetic tape, magnetic disk, CD ROM, Laser Disk, the original draft, design, specifications, and the other.

Article 15-2.

The Hotel shall compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused. through intention or negligence on the part of the Hotel, to the goods, cash or valuables which are brought into the premises of the Hotel by the Guest but are not deposited at the front desk. However, for articles of which the kind and value have not been reported in advance by the Guest, the Hotel shall compensate the Guest within the limits of 30,000 yen.



宿泊約款

TERMS AND CONDITIONS FOR ACCOMMODATION CONTRACTS

みます。)

(宿泊客の手荷物又は携帯品の保管)

第16条

- 1 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡し、若しくはお部屋に運んでおきます。
- 2 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当ホテルは、当該所有者に連絡をするとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含め7日間保管し、その後処分させていただきます。
- 3 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第1項の場合にあっては前条第1項の規定に、前項の場合にあっては同条第2項の規定に準ずるものとします。

(駐車場の責任)

第17条

宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

(宿泊客の責任)

第18条

宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

- 1-2 宿泊客は、宿泊契約に基づく宿泊サービスを円滑に受領するため、万が一宿泊契約の内容と異なる宿泊サービスが提供されたと認識したときは、当ホテルにおいて速やかにその旨を当ホテルに申し出なければなりません。

別表第1

違約金（第6条第2項関係）

契約解除の通知を うけた日		契約申込人数				
		不泊	当日	前日	2～3 日前	8日前
一般	14名まで	100%	100%	80%	50%	30%
団体	15名～	100%	100%	80%	50%	30%

(注)

- 1 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1日分（初日）の違約金を収受します。
- 2 団体客（15名以上）の一部について契約の解除があった場合、宿泊の10日前（その日より後に申込みをお引き受けした場合にはそのお引き受けした日）における宿泊人数の10%（端数が出た場合には切り上げる。）にあたる人数については、違約金はいただきません。

(Custody of Baggage and/or Belongings of the Guest)

Article 16-1.

When the baggage of a Guest is brought into the Hotel before his arrival the Hotel shall be liable to keep it only should request have been accepted by the Hotel. The baggage shall be handed over to the Guest at the front desk at the time of his check-in, or the baggage shall be carried to the room.

Article 16-2.

When the baggage or belongings of the Guest are found left after his check-out, and the ownership of the article is confirmed, the Hotel shall inform the owner of the article left and ask for further instructions. When no instruction is given to the Hotel by the owner or when the ownership is not confirmed, the Hotel shall keep the article for 7 days, including the day it is found, and after this period the Hotel shall turn it over to the nearest police station.

Article 16-3.

The Hotel's liability in regard to the custody of a Guest's baggage and belongings in the case of the preceding two paragraphs shall be assumed in accordance with the provisions of Paragraph 1 of the preceding article in the case of Paragraph 1, and with the provisions of Paragraph 2 of the same article in the case of Paragraph 2.

(Liability in regard to Parking)

Article 17.

The Hotel shall not be liable for the custody of the vehicle of the Guest when the Guest utilizes the parking lot within the premises of the Hotel, as it shall be regarded that the Hotel simply offers the space for parking, whether the key of the vehicle has been deposited to the Hotel or not. However, the Hotel shall compensate the Guest for the damage caused through intention or negligence on the part of the Hotel in regard to the management of the parking lot.

(Liability of the Guest)

Article 18.

The Guest shall compensate the Hotel for the damage caused through intention or negligence on the part of the Guest.

Article 18-1-2.

The Guest shall notify to the hotel immediately when the service of the staying contract is different.

ATTACHED TABLE OF CHARGES 1

Cancellation Charge for Hotels (Ref. Paragraph 2 of Article 6)

Date when Cancellation of Contract is Nafified	Contracted Number of Guests	
	Individuals 1 or 14	Group 15 and more
No Show	100%	100%
Accommodation Day	100%	100%
Previous Day	80%	80%
2-3 days before the reserved date	50%	50%
8 days before the reserved date	30%	30%

Remarks:

1. When the number of days contracted is shortened, a cancellation for the first day shall be paid by the Guest regardless of the number of days shortened.
2. When part of a group booking (for 15 persons or more) is canceled the cancellation charge shall not be charged for the number of persons equivalent to 10% of the number of persons booked as of 10 days prior to the occupancy (When accepted less than 10 days prior to the occupancy, as of the date) with fractions counted as a whole number.



HOTEL Claire Higasa